



広報えびな

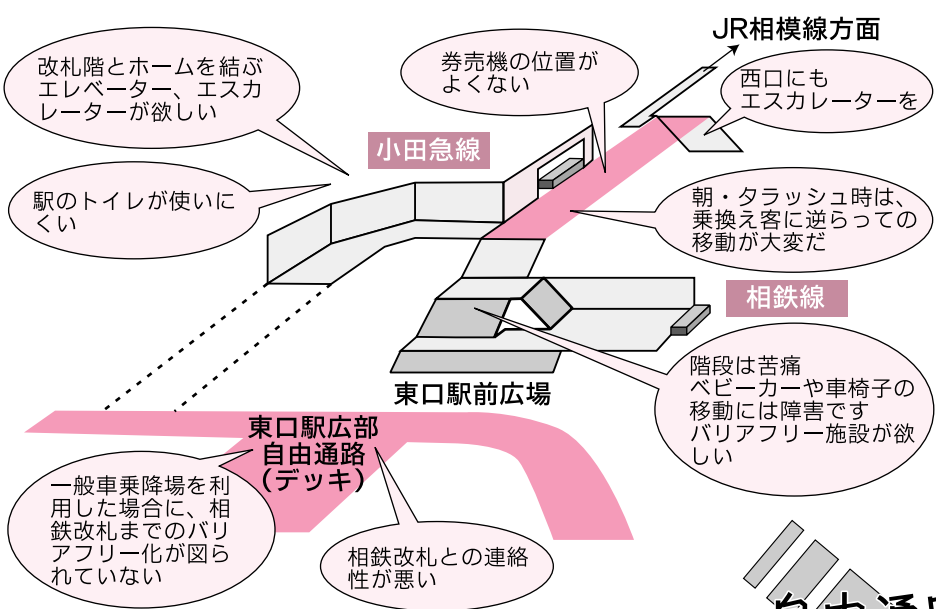
編集・発行
海老名市役所 市長室
〒243-0492
神奈川県海老名市勝瀬175番地の1
☎(046)231-2111 / ㊚(046)233-9118
URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>
*この広報は再生紙を使用しています。

利便性向上を目指して

～海老名駅自由通路計画見直し～

閘 駅周辺対策課

(1) 現状の課題ー市民の意見からー



●整備のポイント

現状の海老名駅が抱えている課題として、市民のみなさんから多くの意見をいただきました(図(1)現状の課題)。

これらの課題を解決するため、安全に利用できる通路幅と階段幅の確保、エレベーターやエスカレーターなどバリアフリー施設の整備、三人の流れの立体的な整理、を基本として事業を進めていきます(図(2)整備イメージ)。

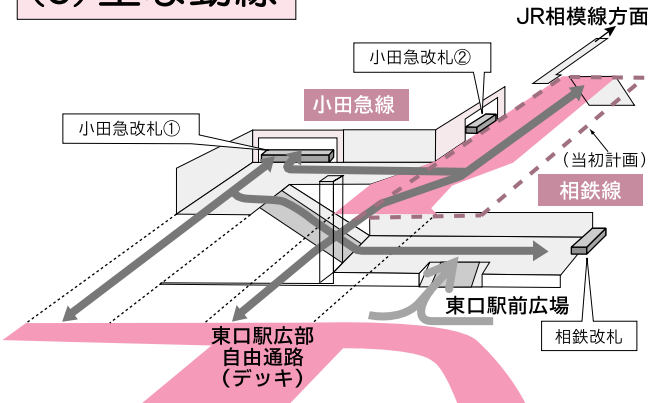
これまでもみなさんにお知らせしてきた「海老名駅自由通路計画見直し」。今回は、施設整備の課題とポイントについて、整備イメージ(案)を含めて紹介します。

●“人の流れ”ー自由通路完成後ー

移動パターン	主な経路
相鉄改札～小田急改札	これまでと流れがかわります(相鉄改札⇄自由通路の下をくぐる⇄新設される階段・エスカレーターを利用⇄新設される小田急改札①)。
東口駅前広場(地上)～相鉄改札	これまでと変更はありません(バリアフリー施設の整備)。
東口駅前広場(地上)～小田急改札	東口駅広部自由通路(デッキ)の昇降施設を使い小田急階に上がると便利。混雑を避けるのであれば小田急改札②を、状況で小田急改札①の利用もできます。
東口駅前広場(地上)～JR相模線方面	東口駅広部自由通路(デッキ)の昇降施設を使い小田急階に上がると便利。小田急改札②の前を通過し、JR連絡通路に向かいます。
小田急改札～JR相模線方面	小田急改札②を利用。相鉄～小田急の乗換えは改札①を主に利用するため、混雑が緩和されます。
相鉄改札～JR相模線方面	これまでより移動距離は長くなりますが、エスカレーター等により上下移動が楽になります(相鉄改札⇄自由通路の下をくぐる⇄新設される階段・エスカレーターを利用⇄小田急改札①前・改札②前⇄JR連絡通路)。

※上記のほか各階の移動は、エレベーターを設置しバリアフリー化を図ります。

(3) 主な動線



自由通路が完成すると

(2) 整備イメージ(案)

駅の構内にはエレベーター・エスカレーターが整備されます。多目的トイレの設置などバリアフリーに配慮した建物になります。

エレベーターを整備します
1階＝駅前広場地上階
2階＝相鉄改札階
3階＝自由通路階(小田急改札階)
駅前広場の一般車乗降場との連絡性も向上します

改札が2カ所が増えます。券売機も改札の近くになります。

相鉄～小田急の乗換え客が別ルートになり、通路の幅員も現状の約1.5倍の12mになることから、混雑が大幅に解消されます。

JR相模線方面

小田急線

改札②

改札①

西口にもエスカレーターを整備します。

相鉄線

東口駅前広場

東口駅広部自由通路(デッキ)

乗換客とその他の利用者を立体的に分離することで、円滑な流れになります。

各階段にはエスカレーターが併設され、上下移動の負荷が軽減されます。

●安全安心の駅へ

海老名駅を東西に結ぶ自由通路(幅12mに見直し)を整備する計画です。現在ある階段を撤去し、小田急線と平行する方向に新しく階段とエスカレーターを整備するなど、現在よりも安全で利用しやすい駅を目指します。

「自由通路計画の見直し」については、「通路の幅を縮小したり、通路線形を曲げたりしても本当に大丈夫？」という質問が寄せられています。

通路幅に関しては、将来、通路利用者が増加した場合でも、自分のペースで歩くことができる十分なスペースを確保しています。また、通路線形に関しては、相鉄既存駅舎への影響を最低限としなければならぬため「クランク形状」とはなるものの、極力歩行に影響がないよう、今後も検討を重ね整備します(図(3)主な動線を参照)。